

みずほCustomer Desk Report 2016/09/07 号(As of 2016/09/06)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	103.61 AUD/USD
TKY 9:00AM	103.51	1.1150	115.43	0.9802	1.3314	0.7592
SYD-NY High	103.81	1.1263	115.68	0.9810	1.3445	0.7688
SYD-NY Low	101.94	1.1139	114.70	0.9695	1.3298	0.7584
NY 5:00 PM	102.02	1.1256	114.82	0.9697	1.3442	0.7687
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	12.79/13.21		△25RR	0.048	Yen Put Over	
NY DOW	18,538.12	46.16	債券市場	日本2年債	-0.1750	1.0bp
NASDAQ	5,275.91	26.01		日本10年債	-0.0180	1.5bp
S&P	2,186.48	6.50		米国2年債	0.7281	▲5.8bp
日経平均	17,081.98	44.35		米国5年債	1.1169	▲7.5bp
TOPIX	1,352.58	8.73		米国10年債	1.5340	▲6.8bp
シカゴ日経先物	16,905	▲180.00	為替市況	独10年債	-0.1110	▲6.3bp
ロンドンFT	6,826.05	▲53.37		英10年債	0.6610	▲5.7bp
DAX	10,687.14	14.92		豪10年債	1.9010	0.9bp
ハンセン指数	23,787.68	138.13		USD/CNH	6.6753	▲0.0162
上海総合	3,090.71	18.62		ドルインデックス	94.82	▲1.02
USDJPY 3M Vol	12.12	0.19%	商品市況	CRB指数	180.895	0.90
USDJPY 6M Vol	11.47	0.10%		NY金	1,354.000	27.30
EURJPY 3M Vol	11.25	0.33%		WTI	44.830	0.39
EURJPY 6M Vol	11.19	0.23%		Dubai Spot	43.47	▲2.12

東京	東京時間のドル円は103.51レベルでオープン。日経平均株価の上昇を背景にドル円は一時103.81まで上昇するも、浜田内閣官房参与の「FOMCの政策決定前であることから、9月日銀金融政策決定会合では追加緩和は行わない方がよい」との発言が伝わると、ドル円は103.40近辺まで下落。その後、再度103.70近辺まで持ち直す場面が見られたものの、依然として上値の重い推移は変わらず、103.64レベルで海外市場に渡った。また、豪ドルは対ドル0.7592レベルで東京時間オープン。発表された豪4-6月期経常収支が事前予想比改善していたことを好感し、0.7600を上抜けると0.7630近辺まで上昇。その後、RBA理事会において政策金利の据え置き(1.50%)が決定され、発表直後こそ上下に振れる局面が見られたものの、コンセンサス通りの結果に反応は限定的、0.76台前半で揉み合った後、0.7622レベルで海外市場に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は下落した。103.64レベルでオープン、アジア時間の流れを引き継ぎ、日銀の追加緩和期待後退から103.20まで下落。新たな材料に乏しく、米国時間に発表される米8月ISM非製造業総合景況指標の結果待ちとなり、103.41レベルにてNYへ渡った。ポンドドルは横ばい。1.3325レベルでオープン。材料難の中、終始小幅推移となり1.3355レベルにてNYへ渡った。(ロンドン17:00 丸野)
ニューヨーク	NY時間のドル円は103.41レベルでオープン。朝方発表された米8月ISM非製造業景況指数(総合)が予想を大幅に下回ったことから、102.80付近のストップを巻き込み、102.04まで下落。同レベルでは一時下げ渋り、102.36まで値を戻すが、先週発表された米8月ISM製造業景況指数、同雇用統計などの米重要経済指標が市場予想を下回る結果だったことも相まって、シカゴホール会合後のドル買いポジションが切り崩され、ドルは主要通貨に対して下落。9月FOMCでの利上げ観測が後退する中、米国債利回りの低下を背景にドル円は上値の重い推移となり、安値101.94まで下落し、102.02レベルで海外市場へ渡った。一方ユーロドルは1.1160レベルでNYオープン。朝方の弱いISM非製造業景況指数を受けてドル売り優勢となり、ユーロドルは一時1.1263まで上昇。その後も1.1250付近での底堅い展開となり、1.1256レベルにて海外市場に渡った。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 矢野・西谷

【昨日の指標等】

Date	Time	Event		結果	予想
9月6日	10:30	豪 経常収支	2Q	-15.5B	-20.0B
	13:30	豪 RBA政策金利発表	-	1.50%	1.50%
	15:00	独 製造業受注(前月比/前年比)	7月	0.2%/-0.7%	0.5%/-0.2%
	18:00	欧 GDP・確報値(前期比/前年比)	2Q	0.3%/1.6%	0.3%/1.6%
	23:00	米 労働市場情勢指数	8月	-0.7	0.0
	23:00	米 ISM非製造業景況指数	8月	51.4	54.9
9月7日	2:00	欧 ダイセルブルーム・ユーログループ議長講演	-	-	-

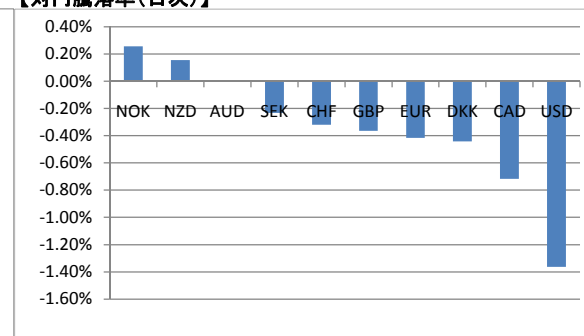
【本日の予定】

Date		Event		予想	前回
9月7日	10:15	米 ウィリアムズ・サンフランシスコ連銀総裁講演	-	-	-
	10:30	豪 GDP(前期比/前年比)	2Q	0.6%/3.3%	1.1%/3.1%
	15:00	独 鉱工業生産(前月比/前年比)	7月	0.1%/0.2%	0.8%/0.5%
	17:30	英 鉱工業生産(前月比/前年比)	7月	-0.2%/1.9%	0.1%/1.6%
	17:30	英 製造業生産(前月比/前年比)	7月	-0.3%/1.7%	-0.3%/0.9%
	22:15	英 カーニー—BOE総裁議会証言	-	-	-
	23:00	加 BOC政策金利発表	-	0.50%	0.50%
9月8日	3:00	米 地区連銀経済報告(ページュブック)公表	-	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	101.50-102.50	1.1200-1.1300	114.30-115.30

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場のドル/円相場は大幅下落となった。この日発表された米8月ISM非製造業景況感指数の低調な結果を受け、米景気に対する先行き不透明感が高まり、追加利上げ観測が後退。これに伴いドル売り優勢となり、一時1ドル=101.94円まで下落した。本日は「上値の重い展開」を予想。先月来、米金融当局者からは追加利上げに関してタカ派のコメントが聞かれていたこともあり、早期利上げ期待が高まっていた。それゆえに、昨日の同国景気指標の悪化を受け、目先の追加利上げ観測は大きく後退し、市場のセンチメント悪化に繋がっている。本日はその悪化合いが意識され上値の重い展開となろう。